

(6) 健康課題の設定

①現状と課題

地域の特性

- 全道平均より高齢化率が高めの傾向にある。
- 平均寿命と健康寿命の差が大きい。
- 死因の9割以上を、がん・心臓病・脳疾患が占めている。

特定健康診査・特定保健指導

- 特定健診受診率、特定保健指導率ともに低い。特定健診は男性の受診率が低く、40～50歳代の受診率が特に低い。
- メタボ該当者は多くないも、メタボ予備群は北海道平均より高い。
- 特定健診受診者で生活習慣治療中の人はコントロールが良くない人や、特定保健指導以外の対象者のうち受診が必要な人も多く、特定保健指導以外の保健指導も必要。
- 生活習慣の改善や特定保健指導の利用を希望しない人が多く、健診を受けても生活習慣の改善につながっていない。

医療費

- 1人当たり医療費が北海道平均より高く、入院率・入院費の割合が年々増加している。
- 生活習慣病1件当たりの医療費は入院で腎不全、脳血管疾患、心疾患の順で、外来では腎不全、悪性新生物、脳血管疾患の順に多い。

要介護認定者

- 要介護認定者は年々増加しており、2号被保険者の認定率は北海道平均を上回っている。

②目標の設定

- 特定健康診査の受診率を向上し、生活習慣病の発症予防、早期発見・早期治療、重症化予防につなげることで医療費の抑制を目指す。
- 健康寿命の延伸のために、禁煙、食生活の改善、健康づくりなど健康に対する意識の向上を目指す。

	七飯町の課題	目指すべき目標	
死亡	<ul style="list-style-type: none"> ・がんの死因割合が高い。 ・健康寿命と平均寿命の差が大きい。 	健康寿命を延ばす	
介護	<ul style="list-style-type: none"> ・2号被保険者の認定率が高い。 ・1号被保険者の認定率・認定数共に年々増加している。 	医療費の抑制	
医療	<ul style="list-style-type: none"> ・一人あたりの医療費が高い。 ・特定健診受診者と未受診者では、医療費に大きな差がある ・外来は糖尿病、高血圧、脂質異常症の受診率は高いが、1件当たりの単価が低い。 →早めに受診している ・入院は、生活習慣病1件当たりの医療費で腎不全、脳血管疾患、心疾患の順に高い。 <p>生活習慣病が重症化している</p>	外来に定期的に受診しコントロールすることで重症化を防ぐ	重症化予防対策
		必要なら、病院を受診する	早期発見 早期予防
		生活習慣を改善する	特定保健指導率の向上
健診	<ul style="list-style-type: none"> ・受診率、保健指導率が低い。 ・メタボ予備軍が多い ・尿蛋白、LDLコレステロール、HbA1cの有所見率が高い ・生活習慣病のコントロール不良な人が多い。 ・特定保健指導以外の対象者で受診が必要な人が多い。 ・特定保健指導率が低い。 <p>健診を受けても生活習慣の改善につながらない</p>	特定保健指導を受ける	特定保健指導対象者以外の健診事後指導
		健診・検診を受診する	特定健診受診率の向上
		健康への関心を高める	健康に関する普及啓発
生活	<ul style="list-style-type: none"> ○特定健康診査質問票より ・喫煙する人の割合が高い。 ・毎日飲酒する人、1合以上飲酒する人の割合が高い。 ・生活習慣を改善する意欲がない人の割合が高い。 ・保健指導を利用しない人の割合が高い。 	町民の取り組み	保健事業

③保健事業の実施

	事業名	目標
健診・ 検診	特定健康診査	健診受診率向上により、高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドロームの減少を目指す。
	人間ドック	
	がん検診	各種がん検診を実施し、がんの早期発見・早期治療を目指す。
	がん検診受診促進事業	受診促進のため40歳、60歳の胃がん、肺がん、大腸がんの無料化を実施し、受診率の向上を目指す。
保健 指導	健診事後指導	結果に応じた保健指導により、生活習慣の改善や、疾病の早期発見・早期治療、重症化予防を目指す。
	特定保健指導	
健康 づくり	健康相談・栄養相談	健康に関する情報の発信と普及啓発を図り、健康に対する意識の向上を目指す。
	健康教育	
	広報（いきいき健康）の掲載	

保健指導対象者を明確にし、確実に保健指導を行うこと、治療が必要な人や治療が中断している人には治療の必要性を理解してもらい、適切な治療につなげる必要があります。

また、生活習慣病の早期発見・早期治療につながるよう、健診・検診の受診率の向上や、日ごろから生活習慣病にならないよう健康づくりを推進していく必要があります。